

平成27年第4回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

## 1 カナダ・サスカトゥーン市への訪問について

まず始めに、カナダ・サスカトゥーン市への訪問についてであります。今年、相互派遣交流25年の節目の年にあたることから、10月9日から4日間、訪問してきたところであります。

サスカトゥーン市長や、サスカトゥーン市教育委員会への表敬訪問をはじめ、教育施設の視察や、行政、教育機関等の関係者と意見交換を行ってきたところであります。

今後につきましても、本市の人材育成、国際交流の推進に努めてまいりたいと考えております。

## 2 地方創生に関する金融機関との包括連携協定について

次に、地方創生に関する金融機関との包括連携協定についてありますが、地方創生の推進を目的に11月5日に北洋銀行と、6日に北海道銀行及び札幌信用金庫と締結したところであります。

本協定では、地域経済の活性化、観光産業の振興、まちづくりの活性化、公共施設の整備などについて相互に協力して進めることとしております。

今後につきましては、各金融機関との連携を深め、まちづくりにおける課題の解決、地域経済の活性化など地方創生に向けた取組みを推進してまいりたいと考えております。

### 3 エーザイ株式会社との連携協定について

次に、エーザイ株式会社との連携協定についてであります。市民の健康的な生活の実現を図り、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けられることを目的として、10月29日に締結したところであります。

エーザイ株式会社との連携につきましては、これまでも認知症予防に関する講演会の開催等を通じて行ってきたところであります。

本協定の締結により、認知症対策や地域包括ケアの推進に向けた取り組みが一層推進するものと考えております。

### 4 プレミアム付商品券の販売状況について

次に、プレミアム付商品券の販売状況についてであります。6月より販売を開始し、10月中旬には総冊数45,000冊、額面総額5億4,000万円分を完売したところであります。

商品券の利用実績につきましては、10月末現在で利用率は75パーセント、総額4億640万円分となっており、消費の拡大や地域経済の活性化に寄与しているものと考えているところであります。

## 5 住宅リフォーム支援事業について

次に、住宅リフォーム支援事業についてであります。4月1日から受付を行い、これまでに147件の助成を決定し、今年度の予算額に達したところであります。

リフォームの主な工事内容としましては、屋根や外装の塗装、内装、給排水設備等の改修などであり、総額として約2億1,600万円の工事が実施されたところであります。

この事業により、利用された市民の住環境の整備はもとより、市内の建設産業の振興につながったものと考えております。

## 6 道央廃棄物処理組合について

次に、道央廃棄物処理組合についてであります。第3回定例会において議決をいただきました栗山町の加入については、10月13日付けで北海道知事の許可を受けたところであります。

今後につきましては、栗山町を加えました2市4町で、平成36年度の焼却施設の稼働を目指し、事業を進めてまいります。

## 7 北広島霊園慰霊堂（合葬式墓地）について

次に、北広島霊園慰霊堂（合葬式墓地）についてであります。8月28日に完成し、9月17日から使用受付を開始したところであります。

この慰霊堂は、2,000体の焼骨を納めることが可能であり、10月末現在で、80体分の申込みを受付けており、すでに納骨も行われているところであります。

来年1月からは、生前の予約につきましても受け付けることとしているところであります。

## 8 東日本大震災の被災地への派遣について

次に、東日本大震災の被災地への職員派遣についてであります。これまで復興に向けた人的支援としまして、宮城県石巻市と名取市、福島県いわき市、岩手県釜石市に延べ16名を派遣してきたところであります。

被災地の自治体におきましては、今なお復興事業に関わる職員が不足している状況にあり、全国市長会等を通じて職員の派遣要請があったことから、平成28年1月下旬から約2カ月間、岩手県釜石市に1名の職員を派遣することとしたところであります。

なお、本定例会において、必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

以上申し上げ、行政報告といたします。